



## 平成25年度 小浜西組町並み協議会総会報告

開催日時：2013年6月6日（木）19:30より

開催場所：小浜市浅間 常高寺本堂

出席者数：出席28名、委任状28通、合計56

定足数：委員66名の2/3、44名につき、有効に成立。

来賓：松崎小浜市長、芝田教育部長、舘文化課長、百田文化課課長補佐、文化課野瀬（敬称略）

議長：鹿島 尾上彰一

次第：開会の辞

会長挨拶／澤口会長

市長挨拶／松崎市長

来賓紹介

定足数の確認

議長選出



議案：第1号議案 小浜西組町並み協議会役員一部改選（案）承認の件

第2号議案 平成24年度事業報告書（案）承認の件

第3号議案 平成24年度収支決算書（案）承認の件および監査報告  
→ 全会一致で可決承認（監査報告：村上監事）

第4号議案 平成25年度事業計画書（案）承認の件  
→ 全会一致で可決承認

第5号議案 平成25年度収支予算書（案）承認の件

その他：町並み資料館の移転の計画があるが、その対処について

→ 今後鋭意、市役所と協議していく。

顧問挨拶：藤田顧問、佐久間顧問、大島顧問

連絡事項：写真の撮影のため、7月になったら、貴船などのエリアで路上駐車場の駐車車両の撤収にご協力をお願いします。

閉会の辞：中島副会長

### ■市長挨拶

本日、小浜西組町並み協議会の総会が開催されるにあたりまして、日頃の協議会の活動に感謝の意を込めて、一言ごあいさつを申し上げます。

6月に入り、梅雨の季節を迎えましたが、既に、



協議会の皆様方には、本市と協働して、4月、5月の2回にわたり、「着物de三味線体験」の開催で地域の賑わいづくりに大きく寄与されており、それらの集大成として、7月28日には、昨年と同様、庚申堂大祭に併せて、「町家deフェスタ」が開催されると伺っております。



さらに、毎月、拝見させていただいております「町並み月報」の発行が、昨年11月で100号を迎えられたことにお祝いを申し上げますとともに、協議会の皆様方にはご苦勞を重ねながらも継続的に取り組まれている活動について、今後も、自信と誇りを持って取り組んでいただきたいと思います。

また、地区内の整備事業については、昨年度、12件の重伝建補助事業が無事終了となり、今年度も9件の改修・新築等が予定され、少しずつ地区内が生まれ変わってきております。今年2月からは、観光まちづくり推進会議を開催し、小浜地区民の方々、その他、市内のまちづくり団体や観光関係者の方々に参画いただき、活発な議論が繰り広げられております。地区内の街路整備に向けては、それらの意見を踏まえた計画を議会および県に承諾いただいた後、具体的な事業を進めていく予定でございます。

今後は、協議会の皆様方には、地域の方々の意見集約について強化していただくとともに、重伝建を活かしたまちづくりに対する気運がなお一層盛り上がるよう、会長の澤口様を中心に取り組んでいただければと思っております。

最後になりましたが、本日出席いただいております協議会の会員の皆様方の、今後益々のご健勝をお祈り申し上げまして祝辞といたします。

## 小浜西組町並み協議会 平成24年度 一般会計収支決算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日  
(単位：円)

項目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	3,129	3,129	
市よりの補助金	180,000	180,000	
資料館業務委託料	360,000	360,000	
町づくり基金より繰入	100,000	100,000	地域文化創造支援事業活動資金
雑収入	0	29	預金利息
合計	643,129	643,158	

### 支出の部

項目	予算額	決算額	備考
資料館運営費	360,000	360,000	管理人謝礼 251,000 企画展・お茶代他 109,000
会合運営費	20,000	12,770	お茶代・福井出張経費
月報発行費	58,000	61,930	製版代・郵送料
環境整備費	87,000	87,655	地区内案内看板修理代・車両抑制看板
事務費	10,000	17,694	事務用品・コピー印刷費
地域文化創造支援事業分担	100,000	100,000	緑日設営費・ベンガラ塗装体験費・行灯製作費
予備費	8,129	0	
次年度繰越金		3,109	
合計	643,129	643,158	

## 平成24年度 町づくり基金 特別会計収支決算書

収入の部 (単位:円)

項目	金額	摘要
前年度繰越金	272,680	
寄付金	640,254	上中氏、新見氏、澤口氏他
マップ・行灯等売上金	14,125	マップ 7,225 行灯4,500 竹籠2,400
預金利息	232	
合計	927,291	

支出の部

項目	金額	摘要
地域文化創造支援事業	100,000	事業の自己資金分
資料館運営費補充	43,748	パンフレット製作代
次年度繰越金	783,543	
合計	927,291	

## 平成24年度 地域文化創造支援事業特別会計収支決算書

収入の部 (単位:円)

項目	金額	摘要
福井県補助金額	115,000	
町づくり基金	100,000	
有志寄付金	15,000	西組有志
合計	230,000	

支出の部

項目	金額	摘要
講師料	2,000	祭と町並みの散策ツアー講師
一門一灯行灯製作費	150,000	行灯30個
縁日設営費	70,000	会場費含む
ベンガラ修理体験費	8,000	塗料・刷毛他
合計	230,000	

\*平成25年度収支予算書(案)と平成25年度事業計画(案)については次号に掲載します。

### 小浜西組町並み協議会からの お知らせと報告

#### “町家deフェスタ”スタッフ大募集!

昨年好評でした「町家deフェスタ」を7月28日に開催します。  
つきましては当日お手伝いいただける**スタッフを募集**しています。  
みなさんの力で祭りを盛り上げましょう!

お問合せ:090-8969-4232(浅間区 佐野まで)

#### 第3回「浴衣(着物)de三味線体験」募集中!

時:7月28日(日) 庚申堂大祭・町家deフェスタ2013と同日

募集人数:5組10名 申込期間:7月1日(月)~19日(金) 申込先:町並み保存資料館(53-3443)

#### 行灯設置に協力してください。

1個につき1,500円ご負担ください。コンセント工事に関しては相談に応じます。

申込先:町並み保存資料館 53-3443 又は 090-8969-4232(浅間区 佐野まで)

#### 小浜西組がテレビ放送で紹介されました。

MBS毎日放送の番組「ちんぷいぷい」の「昔の人は偉かった」というコーナー(6月13日放送分)で小浜西組が紹介されました。案内人は河田直也アナウンサーとタレントのくっすん(楠雄二朗)。二人が徒歩で古い町並みや歴史を紹介しているコーナーです。三丁町を見た二人からは、ノスタルジックな感じを受けたのか「タイムスリップしたみたいだ〜」というコメントがありました。常高寺にも訪れ、澤口住職から「初」や「尾崎放哉」についての話を聞いておられました。番組中では他にも小浜城跡、聖ルカ教会、山川登美子記念館なども訪れ、小浜の見所が紹介されました。





# 第35回 全国伝建協議会研修会に出席

副会長 石野 幸子

平成25年5月22日(水)～24日(金)、鹿児島県薩摩川内市で行なわれた全国伝建協議会研修会に22・23日の2日間参加しました。

入来文化ホールで午後1時30分に受付を終えたあと当ホールで『100地区を超えた重伝建保存地区のこれから』と題して6名の先生方のパネルディスカッションが行なわれました。

昭和50年の文化財保護法改正による伝建地区制度の導入から38年が経過し、現在では保存地区は102地区となりました。当初は7地区から始まったこの制度は、1自治体が4地区を保有する等伝統的な町並みを保存するだけでなく、地域を活性化するためのまちづくりのツールにもなっているということです。

パネラーはこれまでの伝建地区の取組み事例を通じて、問題点や課題等が話されました。なかでも「この仕事に携わって幸せを感じています」と言われた先生の言葉が印象に残りました。

その後会場をホテルグリーンヒルに移して午後6時45分から情報交換会が開かれました。総勢270名の参加者ということで27のテーブルに分かれてのとても賑やかな懇親会となりました。以前、小浜西組へ視察研修に来て下さった方が私と同じテーブルにつき、声をかけて下さり、驚きましたが、話もはずみ、とても有意義でした

オープニングのアトラクションでは役所の若い方10名が元気な踊りを披露してくださいました。また中締めでは来年の開催地の若狭町熊川宿のみなさんが揃いの法被を着てピーアールをされました。

2日目は午前中、現地視察ということで語り部さんの案内で清色城跡、入来麓伝建保存地区を見学しました。清色城跡は、入来院氏の居城で、シラスの丘陵を利用した典型的な山城です。その麓に武家屋敷群があり、印象に残っているところでは、旧増田家やかやぶき門等あり、中学生の案内人（語り部さん）が説明してくれた箇所もありました。

午後1時から『身近な文化財とまちづくり』という演題で文化庁梅津章子文化財調査官の講演がありました。「地域住民が主役のまちづくりは活気があり、良い町になっていく。防災訓練等に参加して保存活動にうまく生かしてください」と話されました。

その後、3分科会に分かれて意見交換会が行なわれ、私は第2分科会の『公開施設や伝建地区内の拠点施設の積極的な活用策について』に参加して、全国の皆様の意見や問題点を話し合ってきました。小浜町並み保存資料館を運営していくうえで参考になればという思いで書いてきました。

この分科会終了後、帰路につきました。



パネルディスカッション



若狭町熊川宿のみなさん



中学生の語り部さん



梅津調査官講演